

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度第1回加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会
開催日時	令和2年9月14日(月) 午後2時00分から午後3時10分まで
開催場所	市役所4階402会議室
議長の氏名(会長:坂口 真康)	
出席及び欠席委員の氏名	
出席者:(7人) 坂口 真康、丹羽 恵子、三箇 美鈴、中尾 克彦、竹内 守男、山名多實子 川田 敏子	
欠席者:(2人) 森本 充裕、西山 秀晴	
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
時本 大作(まちづくり創造課課長) 西山 太(まちづくり創造課 情報推進室室長)、石田 幹治(係長)、丸山 忠浩(主査) 黒崎 量子(嘱託)	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	
(午後2時00分 開会)	
1 開会	
2 あいさつ	
事務局 会長	
各委員の紹介	
(議事は、会長が次第に沿って進行)	
3 議事事項	
(1) 番組の視聴	
① ケーブルテレビ活用による家庭学習支援	
(ア) 番組名:学び伝の助チャンネル「小学校4年生(国語)」	
(イ) 時間:約11分	
(ウ) 放送日:令和2年4月23日(木)	
② 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る特別番組	
(ア) 番組名:新型コロナウイルス感染症対策本部からの大切なお願い	
(イ) 時間:1分40秒	
(ウ) 放送日:令和2年4月13日(月)~26日(日)	

<視聴後の意見・感想>

- (委員) 「学び伝の助チャンネル」は、コロナで長い休みの間、先生の顔が見えることで子どもたちにとってすごく温かいメッセージを届けることが出来たと感じた。
時間も15分にまとめ、子どもたちにとって大変大事な時間であると思った。
この番組をつくるにあたり、学校側、教育委員会、ケーブルテレビとの打合せや役割分担はどうだったのか？
- (事務局) 学校の休みが長くなるが、ケーブルテレビがあるまちとして何かの形で子供への番組が出来ないかと教育委員会と調整した結果、この番組となった。学校側の調整は教育委員会、番組放送はケーブルテレビがそれぞれ行い、学校へは1番組15分の枠に収まるよう、科目毎に簡潔に制作協力をした。
今回の様な取組は初めてだったので、別紙のとおり新聞に掲載された。
ケーブルテレビ未加入の方へは、教育委員会から希望された保護者にDVDの貸出しと、同じく希望された方へは個々にパスワードを付与し、自身が学校のホームページへアクセスして視聴する2パターンで対応したと聞いている。
- (委員) コロナがいつ終息するのか先が見えない状況で、この番組の取り組みは成功したのではないか？
- (委員) この番組により、子どもたちは相手に分かりやすく話すということが大事だと感じた様だ。また、自分の思いだけで話すことなく、話し方が大切だと感じる子どももたくさんいるのではないか。
- (委員) この番組により、親や大人も人間関係や人との付き合いが大事だと感じた。日々の生活の中で、自分の子どもたちにどう接したらいいのか、保護者としても勉強できた番組だった。
- (委員) 子どもの休みの時にケーブルテレビから伝えることは加東市にとってプラスである。子どもたちが不安に思っていることに対し、先生がテレビに出ることは非常に価値があり良い企画だと思った。
市長の番組は、防災無線で聞いた。市長が自ら番組に出るということは良いことであり、ケーブルテレビがあるからのメリットだと思う。
- (委員) 中学生の子どもの保護者だが、知っている先生が画面に出て、子どもたちが我が事のように見ていることで保護者としても安心した。時間と教科書と空間を同じ状態で先生や友達と勉強できなくても、この番組によりその時間を共有できたことが本当にありがたい。今後、リモート教育がどのようになるかわからないが、ケーブルテレビがあればこそだと思った。
- (議長) いろいろと意見、質問を出していただき、ありがとうございました。
時間が短い中、見ていて安心させた内容ですばらしい。
市長の挨拶は、字幕があったが、先生方の番組は字幕やルビが振られていたら、より見やすいのではないかと思った。
- (委員) 「学び伝の助チャンネル」は、放送開始時間が分かりにくかった。毎回放送開始時間を見切ることはできなかったのか。
- (事務局) 配分した時間で番組制作をしたかったが、学年の教科内容により番組時間を統一出来なかつた。次回つくることがあれば生かしたい。
- (委員) 先生方はスーツ姿であったが、普段はカジュアルな服装ではないか。
- (事務局) 科目によっては違う服装での収録もあった。

(議長) ほかに何か御意見は?

<なし>

今後の番組制作に対する御意見として反映をお願いしたい。

4. 報告事項

(1) 令和元年度加東ケーブルビジョンアンケート結果について

<説明後の意見等>

(委員) 依頼3,000通に対し、回答950通、男女の比率はどうなのか。

(事務局) 無作為で抽出して送付しており、回答された地域は住民基本台帳の統計と似た値だが、性別や年齢層は統計と少し異なっている。男女比は、統計より女性的回答が少し多かった。

(委員) 文字放送やデータ放送は、お悔やみや市のお知らせ、特に安全・安心の火事などをチェックしていることが多い。特に今は、コロナの関係で安全・安心は確かに情報発信する必要があると思う。

(委員) ケーブルテレビの番組を見る頻度の質問で、「毎日見ている」と「週2・3回見ている」方の回答結果の28%をどう捉えるか。

(事務局) 分析しないとわからないが、市民の方がどういうものを見たいかを見極めながら考えていく必要があると思う。

(委員) 最近の映像はきれいで、撮影日も表示されており、ニュースの語りの部分も以前より努力していることがわかる。

(委員) 今年はコロナの影響で年中行事である季節感を感じることが少なかった。夏が終わり、稲穂が実っている映像が流れてきたとき、「季節の歯車が動いているな」と感じた。この半年ほどの間で、ケーブルテレビを見直す機会となつた方が多くなつたのではないか。

(事務局) 今年は、春先の田植の風景や、苗の生長、稲穂といったものを意識して放送した。原点を見直して、番間(番組と番組の間)の時間も質の向上を図りたいと思っている。

(議長) ありがとうございます。ほかに御質問、御意見は?

<なし>

(議長) 以上で、議事を終了する。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる番組の制作、編成について

<説明後の意見等>

<なし>

(3) Live Love ひょうご「Lトピ」について

<説明後の意見等>

(委員) このような番組の他にも、「加東ぶらり散歩」や「世界に一つ、加東遺産」など、「加東市の中にこんな素晴らしいものがあるんだ」というものが紹介しており、「あの神社にこんな歴史があつたのか」とか「次はどんなものが出てくるのかな」など楽しみにして見ている。この他にも「水の実験」などすごいと思い見た。工夫が伝わる。大変だと思うけど次も機会をつくって頑張って欲しい。

(議長) ありがとうございます。ほかに御意見、御質問等は?

<なし>

(議長) よければ、以上で協議事項を終了する。

ここから進行を事務局にお返しする。御協力、皆さんどうもありがとうございました。

(事務局) 会長、ありがとうございました。

それでは、閉会に当たり、副会長に御挨拶をお願いします。

5 閉会

副会長あいさつ

コロナ関連でいろんな局のテレビ番組を見ても制作に苦労されているようだ。ケーブルテレビも色んな制約の中、外出できない、放映できないといった苦労があると思うが、新しい企画に取り組んでいるようだ。これからも、ケーブルテレビの良さ、加東市の良さ、美しさなどを放映されることを楽しみにしたい。

今日は、どうもありがとうございました。

午後3時10分 閉会

令和2年11月11日

議長 坂口真康

